



むなかた市議会だより

平成28年6月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集部
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/
050/080/index.html
●メール=gikai@city.munakata.fukuoka.jp

平成28年6月定例会のあらまし

■本定例会は、6月1日から24日までの24日間で開催されました。

■6月2日、3日、9日、10日の4日間、17人の議員による一般質問が行われました。(2、3ページ参照)

■市長提案の議案19件は、本会議で全て同意承認、可決しました。うち14件は6月13日から16日の間に行われた常任委員会および

特別委員会での審議を経ています。(主な議案の内容および議決結果については、1、4ページ参照)



■最終日の本会議で、議員提案の意見書2件、発議3件を可決しました。(4ページ参照)

賛成多数で可決
**28年度補正予算
7億8333万4千円増額**

一般会計の補正予算については、世界遺産関連事業費の増額を中心に活発な質疑が行われ、その後の討論では、委員全員から意見や要望が出されました。補正予算の主な内容は次のとおりです。

①世界遺産関連事業費の増額 (2億1389万円)

◇宗像市大島資料館をリニューアルするための大島ガイダンス施設整備事業費
(1億2787万5千円)

◇既存の神楽第2駐車場を約60台分拡張するための整備事業費(4101万5千円)

◇神湊ターミナルに設置する電子看板整備事業費(4500万円)

◇サイン計画策定事業費(3000万円)

◇大島の観光施設のリニューアルおよび来訪者対策費用として計上する離島振興事業費(3500万円)

◇世界遺産登録に伴う「いもろ」モス視察前の看板撤去工事費用として計上する世界遺産登録活動事業費(2500万円)

②熊本・大分地震関連予算の増額
(8729万7千円)

◇避難者支援および災害備蓄物資購入費など
(3729万7千円)

◇市からの被災者支援義援金(1千万円)

③文化財調査事業費の増額
(2827万円)

平井地区西側の山林で開発事業者が進めている太陽光発電施設の整備に先立ち、埋蔵文化財の発掘調査を開発事業者から受託するため。

主な質疑

Q 福岡県、福津市、宗像市の3者で整備する世界遺産センター(仮称)の協議が進んでいない中、なぜ先行して大島にガイダンス施設を整備する必要があるのか。

A 来年7月の世界遺産登録に向けて来訪者の増加が予測されているが、世界遺産構成資産や島民との関わりを紹介する場がないため、世界遺産センターの整備を待たず、来年度供用開始予定で大島にガイダンス施設を整備する。なお、世界遺産センターとは役割や位置付けを明確に区分する。

◇ふるさと寄附を活用した災害支援寄附金(4千万円)

Q ガイダンス施設の整備については、大島資料館の再整備以外の検討もしたのか。

A 大島ターミナル2階なども含め、複数の場所について検討した。ガイダンス施設は、世界遺産のガイダンス機能だけでなく、島の活性化を図るための拠点とするところから、来訪者の大島ターミナルからの動線や費用対効果なども考慮し、大島資料館を再整備することを決定した。

Q 大島資料館の耐用年数などは問題ないのか。

A 建物の一般的な耐用年数は約50年から70年といわれている。大島資料館は、平成4年に建設されており、新耐震基準も満たしているため、問題はないと考える。

Q 平井地区の山林では大規模な伐採が行われており、地元住民から災害を危惧する多くの声が寄せられているが、市の対応は。

A 県が許可した林地開発であるが、市も常に状況の把握に努める。災害などの恐れがある場合は県へ報告、文化財調査終了後の市街化調整区域の開発段階では、県と市で随時、開発業者への指導を行う。

本年度も実施します！

各常任委員会による事業評価

事業評価の意義

事業評価は、事業の「調査」だけでなく、「常任委員会での評価」を行うことに特徴があります。市がこの評価結果を受け、次年度の予算案に反映させることが期待できます。また、3月定例会での予算審査の際に、今回の評価結果を踏まえた審査を行うことができます。

事業評価の内容

本年度は、総務常任委員会が2事業、社会常任委員会が1事業、建設産業常任委員会が3事業を対象に、議会閉会中の7～8月に実施します。市の担当部署への質疑などによる調査のうち、下記の4つの評価項目(表1)の観点から、今後の取り扱いレベル(表2)において4段階で評価します。評価結果は、次回の議会だよりで掲載します。(昨年度の評価結果は、平成27年11月1日号に掲載しています。)

表1【評価項目】

	評価項目	観 点
①	公共性	行政が取り組むべき事業なのか。
②	必要性	事業に対するニーズはあるのか。
③	費用対効果	事業のために支出した費用に対して、期待したとおりの効果があったのか。
④	成果	事業を実施することで何ができるようになることを期待したのか。実施後は期待どおりの結果になったのか。

※評価の結果、改善の必要がある事業についてはその改善策を提案します

表2【今後の取り扱いレベル】

A	拡大
B	改善
C	縮小
D	廃止(休止)



多くのご意見、ありがとうございました。 「議員と語ろう！」議員座談会

昨年10月に実施した議員座談会を、今年は10月に市議会議員選挙が行われるため、5月11～17日に大島、河東、吉武の3地区のコミュニティ・センターで開催し、合計69人のみなさまにご参加いただきました。

今年もグループ形態で座談会を行い、あらかじめ定めたテーマ(「子育て支援」「少子高齢化」「産業活性化」)を中心に、自由活発な意見交換が行われました。

また、テーマ以外のご意見もいただきました。特に大島会場では、来年世界遺産登録を控えているため、登録後の環境の変化について期待や不安の声が聞かれ、議会として今後も注視していく必要があると感じました。

地域の方のご意見を直接伺うことができ、大変有意義な会となりました。いただいたご意見やアンケートの結果は議会運営の参考にさせていただきます。また、それらをまとめた報告書を今後の行政運営の参考とするよう、7月14日に市長に提出しました。報告書は各地区コミュニティ・センターに設置するほか、市議会ホームページでも閲覧できます。



吉武コミセンでの座談会の様子

平成28年6月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が、市の行政事務全般について、市の見解を問うものです。

平成28年6月2日、3日、9日、10日の4日間にわたって、17人の議員が合計27項目の質問を行いました。

- 議員が質問を行った順に掲載しています。
- 掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- 質問の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは8月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



ふるさと寄附金の検証
とびうおクラブ／安部 芳英

問 26年12月議会で提案したふるさと寄附金の電子決済の導入および返礼品として市の特産品の送付を開始した制度拡充の成果は。

答 税外収入については、拡充前の26年度が寄附額約3千3百万円、寄附件数254件だったのに対して27年度は寄附額2億9千9百万円、寄附件数1万7千245件と額、件数ともに大幅に増加をした。

地域経済活性化の面からは、特産品の出店者数は11事業者から22事業者に増加、返礼品の生産体



大人気のむなかた牛

市のPR効果については寄附を通じて宗像市を知っていただく機会になったと考える。



本場に宗像の海は豊かなのか
とびうおクラブ／北崎 正則

問 宗像の海を豊かにするため今後の取り組みは。

答 引き続き、投石などの藻場造成を進めながら、適宜状況確認を行う。また、先進地の方策を調査し、さらなる資源回復に取り組む。

問 海底耕うん※1・清掃の回数を増やすことや、漁場の整備予算の増額が必要と思うが、どうか。

答 本年度、海底耕うん、海底清掃、岩盤清掃を予定している。具体的には関係者と協議していく。



さつき松原から臨む玄界灘

問 海づくり大会を契機に、関係者と共に環境課題に取り組んでいきたい。その他の質問

文化財の保護について



災害に強い地域づくりのために
くおが市民政治ネットワーク／杉下 啓憲

問 市民が想定外の事態に対応できるよう、想像力や判断力を培うことが大事。「災害シミュレーションゲーム」や「避難所運営ゲーム」などを、防災活動に取り入れては。

答 4月から整備された補助金を利用して、コミュニティ単位でゲームを利用する防災訓練も有効だと考える。

問 地域の防災対策の話し合いや活動の場に、女性、高齢者、障がい者など多様な人の参加を促すよう、地域のリーダーに働きかけるべきでは。

答 遊びが持つ治癒力は、子どもの心のケアに大切な要素なので、遊びの事業については、積極的に推進していきたい。



防災組織・防災計画の強化を
宗像志政クラブ／神谷 建一

問 熊本地震での想定外の被害を教訓にし、公共施設の早急な再点検が必要ではないか。

答 市内の小・中学校の体育館の被害確認、安全確認を実施しており、6月中に確認を終える予定。

問 自主防災組織の役割は重要である。訓練や研修会を実施して防災リーダーを育成するとともに、組織指示系統のマニュアル作成が必要ではないか。

答 訓練や講座を実施している。防災訓練マニュアルを配布しているが、



働くお母さんの環境支援について
宗像志政クラブ／伊達 正信

問 保育所の待機児童、隠れ待機児童について本市の見解を伺う。

答 入所希望全体に対する施策として、保育所や認定こども園の定員枠の拡大が必要。定員増をお願いするとともに、届出保育施設の認可保育所化なども検討している。

問 待機児童について、は、届出保育施設利用者への補助金対応をすることだが、隠れ待機児童についてはどうか。

答 来年度頃からのスタートを含め検討する。まずは待機児童への措置から取り組みたい。



赤馬館の課題と将来の展望について

問 唐津街道赤間宿において黒田藩のお茶屋（本陣）の門ではないかといわれている木戸門を復活できないか。

答 木戸門の設置に限らず、何らかの対策はイベントの開催も含めて検討していく。



共生社会の実現に向けて
みらいの和み宗像／高原 由香

問 発達支援センターの業務を明確にする要項のようなのが必要では。

答 事業内容を明確にし、アクセスしやすいホームページの検討を含めた情報発信を進める。

問 特別支援学級の数と同数の特別支援教育支援員の配置の検討は。

答 支援員は学級数ではなく、在籍人数や児童・学校の状況にに応じて配置している。今後状況を見極め適正に配置する。

問 中学校の通常学級に在籍する支援や配慮の必要な生徒への進路指導は、個別の指導計画に基



発達支援センター（メイトム宗像本館隣）



百人会議と海づくり大会の関連は
宗像志政クラブ／吉田 剛

問 宗像国際環境100人会議と海づくり大会の関連性をどう考えるか。

答 海の環境保全という点で共通している。宗像国際環境100人会議でのノウハウやネットワー

問 田熊石畑遺跡の現状と展望は。

答 オープンから9カ月で来園者数は2万6千人。今後は、宗像人のルーツとなる史跡として一層アピールをしていきたい。

問 環境問題を、宗像海人族の時代から海と培った文化を通して考え、宗像独自のレガシー※2を残すべき。世界遺産との関連もあると考えるがどうか。



昨年の宗像国際環境100人会議の様子



大島にある安倍宗任の墓について
市民連合／福田 昭彦

平安時代後期、奥州の豪族である安倍一族が源義家に前九年の役で敗れた。捕虜となった安倍宗任は大島に流罪となり、七十七歳で没した。その墓は大島の安昌院にある。その宗任から四十四代目が現総理大臣・安倍晋三氏である。

問 この墓をもつとPRして大島の観光資源として活用しては。

答 現在も案内板や観光パンフレットによる案内を実施している。今後のPR強化については、墓

地が民家の建て込んだ、地域の生活に深く根差し



安倍宗任の墓



実践対応できる災害対策を

公明党／岡本 陽子

問 災害時、近県との広域連携が必要ではないか。

答 現在、県内全市町村、東京都の小金井市と相互応援、相互支援の協定を締結している。今後、大規模災害発生に備え、遠隔地の自治体との協定締結も進めていきたい。

問 福祉避難所の整備はどのようにしているか。

答 災害発生時は早期に全ての指定避難所を対象とし、要配慮者の把握調査を開始するよう努める。現在、市内の高齢者施設、障がい者施設など20施設と、災害時の福祉

避難所の設営、運営に関する協定を結んでいる。

問 災害時のごみ収集に関するマニュアル、集積場所のマップの作成が必要では。

答 本年度から災害廃棄物処理計画の作成に取り組み、29年度中に完成予定である。この計画の中に、災害廃棄物の集積所なども明記したい。



禁煙と受動喫煙防止の徹底を

公明党／石松 和敏

問 受動喫煙防止の徹底をするには、まずは庁舎館内の全面禁煙を検討すべきと考えるが、市長の見解を求める。

答 庁内を完全に禁煙とした場合は、喫煙そのものが禁止されているわけではないので、経費は掛かるが喫煙所を別のところに設置することも含めて検討したい。



和の精神をもってまちづくりを
とびうおクラブ／森田 卓也

本市の偉人・出光三翁に学び、和の精神をもつて本市独特のまちづくりを行うため地区共同体を再度提案する。

問 出光三翁の教えを市政に反映することについてどう考えるか。

答 コミュニティ施策、市民協働、教育・子育て環境の充実、グローバル人材育成などは、和の精神、人の力、家族主義といった佐三翁の教えを実践するべく取り組んでいる。

問 高齢者福祉施策（地域包括ケアシステム）とともに、子育て施策も一

体的に取り組んでは。地域、関係団体と協議しながら検討する。

問 地域包括ケアシステムを2025年までに自治会単位で構築しては。

答 地区共同体の自助共助といった地域の助け合いを、システムを構築する中でどのように取り込むのか研究したい。



女性が輝いて働く環境整備を急げ
宗像志政クラブ／小島 輝枝

国は女性が働く場において能力発揮と活躍ができる環境整備のため「女性活躍推進法」を策定した。

問 女性農業者の社会参加、負担軽減、また雇用促進につながる営農ヘルパー制度導入について今後の課題は。

答 課題は作業技術の向上であり、現在、JAや農業活性化機構と協議を行っている。



みあれ祭（海上神幸）を次世代へ
宗像志政クラブ／井上 正文

故郷への愛着や誇りを継承していくため、市の文化的伝統行事の象徴であるみあれ祭を、積極的に支援していくべきではないか。

問 伝統行事としての文化的価値を明確にするため、市指定文化財への申請を準備している。また、本市だけでなく筑前七浦の祭りとして捉え、保存継承、活性化のために支援しなければならぬと受け止めている。

問 海上神幸に参加する漁船の燃油代の助成は可能か。

答 文化財の保存のため



みあれ祭・海上神幸（10月1日）

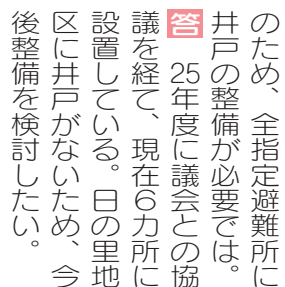


熊本地震から学ぶべきこと
日本共産党／末吉 孝

公共施設の耐震強度基準を見直す考えは。

問 国が基準の見直しを行えばそれに適合するよう耐震補強を検討したい。

答 公民館などを避難施設として活用するため耐震補強整備を考へては。



深刻な教員不足に市独自の対策を
日本共産党／新留 久味子

本市では、児童数に対する教員不足により、県交付の臨時免許取得者が昨年の4人から10人と増加した。うち5人がクラス担任に配属。さらに2校の小学校では、教員が2人欠員となっている。

問 この状況をどう認識しているのか。

答 緊急を要する状況下

問 24時間で245ミリの降水量があつた場合、釣川西側で最大5mの浸水が予測される。対策として、増水した河川の水を一時的に水田などに溜める遊水地が有効だ。県への働きかけを含め、検討してほしい。

答 遊水地については、以前も県へ提言したこと



心配な水害対策は遊水地が有効
日本共産党／植木 隆信

があるが、河川改修を優先する方針とのことだった。また、地権者との協議など課題もある。よい案なので、県に再度確認したい。



誰もが暮らしやすい社会づくり
宗像志政クラブ／花田 鷹人

社会の中で立ち直りを助け、再挑戦ができる社会を目指して

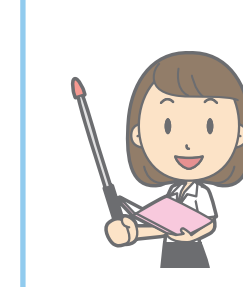
問 刑期満了者、保護観察対象者への社会復帰支援について、本市の取り組みは。

答 支援している宗像市保護司会への補助金交付や広報紙での啓発などを行っている。



定数の教員を確保するべきと考えるがどうか。

答 義務教育の教員配置は、基本的に国、県の責務なので、市単費での雇用は難しい。現在、県教育委員会と協議をしている段階である。



問 子どもの貧困に対応するため、実態を正確に把握する必要がある。東京都足立区のような実態調査の実施を求める。

答 同様の設問を多く含んだアンケート調査を25年度に実施している。子どもへの貧困対策は重要であるため、足立区や県内他市町村の今後の動向も注視していく。

問 競争入札参加資格審査の認定項目に保護観察対象者などの雇用を設け、協力雇用主の就労支援活動に対して加算評価している。

●●● 提出議案と議決結果 ●●●

6月定例会で審議し、同意・承認・可決した議案のうち、主な議案と賛否が分かれた議案を紹介します。全ての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

議案名	内 容
工事請負契約の締結 (フェリーおおしま代替船建造工事)	フェリーおおしま代替船の建造工事を施行するため、プロポーザル方式（※3）により定めた工事請負人と工事請負契約を締結する。

【賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議案名	議員氏名 議決結果	井上正文	吉田剛	森田卓也	高原由香	安部芳英	岡本陽子	北崎正則	伊達正信	杉下啓恵	神谷建一	花田鷹人	福田昭彦	小島輝枝	新留久味子	石松和敏	小田英俊	植木隆信	末吉孝
宗像市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
宗像市乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例の全部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
工事委託契約の締結（東郷駅駅舎及び自由通路改修工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成28年度宗像市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	◆	○	○	○	◆

※吉田益美議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

※3 プロポーザル方式…複数の事業者に企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行ったものを選定すること。

意見書

2件の意見書を可決し、国へ提出しました。

待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書
【賛成多数で可決】

（要旨）
2万人を超える待機児童の問題解決のためには、地域の実情や利用者の視点に立った支援策が重要である。保育人材確保のための処遇改善など総合的な取り組みを推進するとともに、待機児童の多い地域においては即効性ある受け皿の確保などを集的に講ずることも必要である。予算の確保も含め、早急に取り組みむことを政府に強く求める。

（要旨）
次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書
【全員賛成で可決】

（要旨）
昨年6月に閣議決定された「骨太の方針」の次期介護保険制度改正に盛り込まれた軽度者に対する福祉用具貸与などへの給付の見直しは、低所得世帯等弱者の切り捨て、介護の重度化を招き、介護保険給付費を増大させるおそれがあるため、十分に検討するよう強く求める。

政務活動費収支報告書・領収書を公開

政務活動費は、議員の調査研究、その他の活動に必要な経費の一部として、地方自治法および市の条例に基づき、議員に交付されるものです。

本市の場合、議員個人26万4千円を上限に、月額2万2千円（月額）を上限に交付しています。対象となる議員は、

項目	内 容
研修開催費	・研究会や研修会を開催する経費
調査研究費	・先進地調査や現地調査の経費 ・他の団体が開催する研究会や研修会に参加する経費
資料作成および資料購入費	・資料の作成や図書の購入に要する経費
広報および広聴費	・調査研究活動、議会活動や市の政策について、住民に報告・PRするために要する経費 ・要望や意見を聴取するための会議などを行う経費
人件費	・調査研究活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	・調査研究活動のために必要な事務所の設置や管理に要する経費

る経費は表のとおりです。

27年度は、議会全体で総額約450万円が使用されました。

議員から提出された収支報告書・領収書は、市議会のホームページで公開しています。

【宗像市公式ホームページ↓市議会↓政務活動費↓〇〇年度交付分↓議員名をクリック】

また、議会事務局で申請をすれば、写しを閲覧することが出来ます。

＊書類の整理期間などで閲覧できない場合がありますので、事前に議会事務局までご連絡ください。

近年、一部の議会では政務活動費の不適切な使い方が問題となっており、本市のように領収書をホームページで公開しているケースは全国的にも少なく、先進的な取り組みであるといえます。

9月定例会の日程

（予定）

日程	内容
8/31 水	本会議（議案上程、提案理由の説明）
9/1 木	本会議（一般質問）
2 金	本会議（一般質問）
6 火	本会議（一般質問、大綱質疑）
7 水	本会議予備日
8 木	総務常任委員会
9 金	社会常任委員会
12 月	建設産業常任委員会
14 水	予算決算 第1特別委員会（※）
15 木	予算決算 第1特別委員会（※）
16 金	予算決算 第2特別委員会（※）
20 火	予算決算 第2特別委員会（※）
21 水	委員会予備日
29 木	本会議（委員会報告、質疑、討論、採決）

※予算第1…一般会計
※予算第2…特別会計・企業会計
▼一般質問通告書（一般質問の内容）は、開会3日前に議会ホームページで公開します。

ページに掲載します。

▼請願の提出締切日は8月24日（水）です。

▼本会議と委員会は、市内の公共施設やホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

！ 9月定例会の見どころ

27年度の決算の認定や28年度の補正予算案について審査します。

編・集・後・記

毎年4回発行の本紙を通じて、より多くの方々に、より分かりやすく市議会を知っていただけるよう紙面構成を考えております。また、市フェイスブックで議会開催の記事を掲載するなど、新しい取り組みもしています。18歳選挙権も導入され、今後は若い方々にも市議会へ関心をもっていただけるよう努めます。 議会広報編集部会長 井上 正文

議 場 講 演 会

6月17日、男女共同参画週間事業・講演会「共に生き、共に輝く社会に向けて」が議場にて行われました。講師はフリーアナウンサーで大野城まどかびあ館長の林田スマさん。個人が尊重される社会について自身の経験を交えながら、楽しくお話ししていただきました。



議員席で講演を聴く市民のみなさま

熊本・大分地震で被災されたみなさまへ

お見舞いを申し上げます

宗像市議会議員一同から、九州市議会議長会を通し、義援金をお送りしました。今回の地震で被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

宗像市議会議員一同

市議会のくわしい情報や議会中継はホームページをご覧ください。

宗像市議会

検索



ホームページQRコード

お問い合わせは

議会事務局へ
Tel.0940(36)1119